



学園通信

2018年10月15日発行

No.334

～開校記念日号～

特集 芸術の秋「私の一本」



Contents

開校記念日によせて… 2 / 特集 芸術の秋「私の一本」… 4・5 / オータムフェスティバル(大学祭)2018開催… 11
第12回学長学業奨励賞受賞者発表… 12 / KOMAZAWA NEWS… 14・15
活躍する卒業生 株式会社鹿島アントラーズFC スカウト担当部長 椎本 邦一さん… 16

開校記念日によせて

ぎょうじ どうかん 行持道環ということ

10月15日は駒澤大学の開校記念日です。年毎に訪れる記念すべき日に、本学の歴史を回顧し、各自の立ち位置を点検してみたいと思います。

今から420数年前、文禄元（1592）年、江戸駿河台吉祥寺に「旃檀林」が開設され、この学林が狭隘化し、明治15（1882）年10月15日に麻布北日ヶ窪（現六本木ヒルズ辺）に移転、「曹洞宗大学林専門学本校」と改称したこの日を本学の開校記念日と定め、今年で136年を迎えます。因みに駒沢の現在地に移転したのは大正2（1913）年のこと。こちらも早一世紀余りの歳月が経ちました。

明治維新150年の今年は、近現代史を振り返る機会も多く、冷厳な史実を前にして種々考えさせられ、果して日本社会はこのままでいいのだろうか、頻りに反省させられるこの頃です。駒澤大学史となればさらに古く、戦国末期から江戸・明治・大正・昭和・平成と経過する時代の荒波を潜り抜け、今日まで存続する間の、先人たちの暮らしぶりはどうだったのだろうかと思いを巡らさずにはおれません。

道元禪師は『正法眼蔵』『行持上』巻でこう明言されます。われらが行持によりて諸仏の行持見成し、諸仏の大道通達するなり。われらが行持によりて、この道環の功德あり。

各自の自覚的な日々の暮らしの中で、2500年前から今日まで相承して来た祖師たちの生き姿が明明と立ち現われる。連綿と続く親密さが歴史を超えて目の当りに顕現する、と。

実に、私たちの日々の言動が、先人たちの築き上げた輝かしい駒澤大学の学統を、新たに現代に創出していくことになる道理です。一日一日たゆまず堅実に歩を進めましょう。



総長
池田 魯参

開校記念日によせて

駒澤大学は、1882年麻布北日ヶ窪に校舎を新築し、「曹洞宗大学林専門本校」と命名した日である10月15日を開校記念日と定めています。爾来、136年の星霜を重ね、本年に至りました。

この記念すべき日を迎えるにあたり、私たちは、長い歴史を振り返りつつ今に感謝し、さらには未来を見据え真摯な努力を続けようとの思いを新たにしたいものです。奇しくも本年、開校130周年記念棟（種月館）の高層棟運用が始まりました。この種月館は、隣接する禅文化歴史博物館（耕雲館）と併せ、本学のキャンパスを貫く「歴史軸」を形成しています。そこには、「耕雲種月」という禅語を表象する両建物を通して、本学の建学の理念である仏教の教えと禅の精神を象徴的に体現するというコンセプトが込められています。

翻って、未来に目を向けると、高度通信技術の革命的進化およびAIの活用がもたらす第4次産業革命により、「情報社会」に続く「Society 5.0」の時代がやってくるとされています。このような先端技術の展開が、日本では少子高齢化の進展のもとで、いかなる社会を生み出すのか、さまざまなシミュレーションがなされているとはいえ、その姿を見通すことは困難と言わねばなりません。

そうした変貌著しく、先行き不安な社会的状況を背景に、高等教育研究機関である大学も、存亡の危機に直面していることは周知のとおりです。その際、大学に求められるのは、独自の個性、特徴をいかに世に示し得るかであります。

本学においても、創設の原点を踏まえながら、将来に向けてその在り方をともに考えたい。開校記念日が、そうした思いを喚起するよう願っております。



学長
長谷部 八朗

一松語

とかく「まじめ」と言われる人（言われたい人）は、向き合うべき用務に対して「まじめ」に取り組む。学ぶべき時間、働くべき時間に真剣であるのは誰にも求められるが、他の人との差異化を図ろうとするのか、ひたすら「まじめ」に取り組む。朝早くであったり、夜遅くであったり、休日を返上してでも「まじめ」に取り組む。教育に関わる人には、このような「まじめ」な方が少なくない気がする。◆「まじめ」

はその人自身の中だけで収まるのならば自己完結でよいのだが、往々にして周りを巻き込む。「まじめ」の思いを共有できない場合、「まじめ」な人と周りとの齟齬が生ずる。「まじめ」に文句を言う。「まじめ」に他を批判する。「まじめ」を、関わる人々に強要し、闇に落とし込む。2018年に嫌な形で流行ったパワハラに通じてしまうところでもあろう。◆「まじめ」を否定するわけではない。ただ、全力で「まじめ」であろうとするのはいかがなものか。余裕のない人生はありえない。娯楽

のない人生はありえない。毒のない人生もありえない。政治も芸術も経済も文学も運動も学問も遊技も、「まじめ」なだけでは結果は伴わない。◆たとえ、今、「まじめ」の被害で、闇の中にあっても、そこを抜け出せるだろうという希望は信じてよい。世の中に「まじめ」な人がいる一方で「まじめ」過ぎない人もいる。駒澤大学には、そのような「まじめ」過ぎない教員・職員・学生が、結構いるように思える。頼れる人はすぐそばにいろ。

名誉教授のプロフィール

名誉教授の称号は、学校教育法第106条、駒澤大学学則第51条及び駒澤大学法科大学院学則第14条第4項に基づき、教育または学術上、特に功労のあった先生に授与されます。今年度は、7月6日(金)に授与式が行われました。



文学部
廣瀬 良弘 先生

廣瀬先生は本学ご出身で、1987年に着任、31年間文学部歴史学科で過ごされた。中世曹洞宗の地方展開史がご専門で、現地調査とともに業績は多い。講義はお人柄とともに学生から支持された。大学院日本史学専攻主任、学科主任、教務部長、陸上競技部長、そして学長に就任。北京大学との学術交流にも尽力。日本歴史学協会や地方史研究協議会の会長をつとめられるなど、そのご活躍には敬服している。(文学部教授 久保田 昌希)



文学部
坪井 健 先生

坪井健先生は、1978年に本学社会学科に助手として着任され、40年間にわたって在職されました。ご専門は社会心理学で、1990年代からは主としてアジアから日本への留学生の実態や意識のあり方について研究され、近年では「ヒューマンライブラリー」を通じた研究と学生指導を精力的に行ってこられました。ご趣味のランニングを通じて、退職後も健康に留意され、活躍されることを祈念しております。(文学部教授 山田 信行)

金子先生は1975年に本学法学部に奉職され、以来43年間、法学部長、大学理事・評議員、法学研究科委員長など要職を歴任され、本学の教育、発展に貢献されました。行政法と行政訴訟法研究の先端課題に焦点を当て、不服審査、住民訴訟、租税訴訟などに関してなされた多くの研究が学界に高く評価されています。きめ細かい教えや生きた知識の伝授など学生に大変評判のよい先生でした。(文学部教授 王志安)



法学部
金子 昇平 先生

高田光明先生は、1977年に本学経営学部の助手として着任されて以来、41年の長い歳月にわたり経営財務論の分野における研究・教育に多大な貢献をなされました。この間経営学研究科委員長を2年、経営学部長を2年間務められました。また、在職中は気さくで濃厚なお人柄で知られ、同僚だけでなく、学生からも慕われました。先生のご健康とご活躍を祈念いたします。(経営学部教授 長 國強)



経営学部
高田 光明 先生



医療健康科学部
青木 清 先生

青木先生は1980年に短期大学放射線科に赴任され、以来放射線計測・管理の分野を中心に、本学の研究・教育にご尽力されました。学部・大学院の開設にもご尽力され、また医療健康科学部長、医療健康科学研究科委員長、総合情報センター所長などを歴任され、本学の発展に多大な貢献をなされました。先生の公正で適切にご判断は、学生・教職員から常に厚い信頼を寄せられていました。(医療健康科学部准教授 金子 順一)



GMS 学部
白水 繁彦 先生

白水繁彦先生は2008年GMS学部にご着任以来、10年に亘りメディア文化分野の教育・研究に寄与されました。イノベーションの普及と、海外日系人や沖縄系人を中心とするエスニックコミュニティの文化変容に関するご研究では内外で高い評価を獲得されています。総合情報センター所長、グローバル・メディア研究科委員長を歴任し、現在も本学GMSラボラトリーの「社会とメディア研究プロジェクト」でご尽力されています。(GMS学部教授 各務 洋子)

仏教行事について

太祖降誕会

仏教学部教授 佐藤 秀孝

曹洞宗には二人の祖師がおります。越前(福井県)永平寺を開かれた高祖の道元禅師(1200～1253)と能登(石川県)總持寺(いまは横浜市鶴見)を開かれた太祖の瑩山紹瑾禅師(1264～1325)です。道元禅師には『普勸坐禅儀』があり、瑩山禅師には『坐禅用心記』があって、ともに只管打坐(ただ坐る)の坐禅を重んじました。釈迦牟尼仏を中心にお二人を左右に配して「一仏両祖」と称しています。道元禅師は永平寺に籠って僅かな弟子と坐禅修行に努めましたが、当時の曹洞宗は北陸の一角に小宗団を構えているにすぎませんでした。四代目に当たる瑩山禅師は能登の永光寺や總持寺を拠点に日本国中に教えを広めたい願いを持たれ、足場を固められたのです。弟子たちが遺志を継ぎ、その後、曹洞宗は日本の津々浦々にまで広まっていきました。瑩山禅師が世に出られなかったならば、曹洞宗は今日見るような大宗団にはなっておらず、駒澤大学も存在しなかったことでしょう。太祖降誕会とは瑩山禅師の生まれた日を祝う行事です。



成道会

仏教学部教授 木村 誠司

成道会「じょうどうえ」と読みます。釈迦(しゃか)が、悟りを開いたことを記念する日です。釈迦と言えば、仏教の開祖でご存知の名でしょう。ブッダとも釈尊(しゃくそん)とも呼ばれています。彼は、書き物を残しませんでした。そのためか、悟りの中身には諸説あります。縁起(えんぎ—一種の因果律—)という説が有力ですが、その解釈は、未解決です。苦悩から悟りに至るまでのプロセスを示すものであると思いますけれど、それが12段階あるとか、10段階あるとか議論噴出です。また、釈迦は無師独悟(むしどくご—一師に頼らず、自分1人で悟った—)と言われるのに、こう考える人々もいました。「釈迦の悟りは、釈迦以前から受け継がれてきた聖人の教えに他ならない」。釈迦にはオリジナリティーがないのでしょうか。釈迦はビッグネームなのに、悟りの内容は謎なのです。生没年さえいまだに議論的です。1991年に『歴史的ブッダの年代論』が刊行され、各国の学者が激論した様子が伝わります。謎だらけの釈迦をイメージ出来ますか？



芸術の秋

あなたのお気に入りの一本を教えてください

私の一本



「芸術の秋」に駒大生に観てほしいオススメの映画を在学生・教職員に聞きました。

Q1

この作品を選んだ理由は？

Q2

心に残る場面は？

Q3

この映画に「キャッチコピー」をつけるなら？

Q4

次に観たい作品は？



Title

夜は短し歩けよ乙女



文学部歴史学科外国史学専攻3年
岩下 時郎

監督 | 湯浅 政明

A1 元々、この映画の原作の小説が好きだったというのが一番の理由。夜の京都を彩る個性豊かな登場人物たちが非常に魅力的。

A2 後輩の女の子に想いを寄せる主人公が、理性と煩惱の狭間で悶え苦しみながらも「彼女に想いを伝えたい」というたった1つの願いを叫ぶシーン。

A3 「大学生よ、夜の遊びはかくあるべし」
阿呆な大学生の不毛な努力を書かせれば右に出るものはいない、森見登美彦の名作が待望の映画化

A4 同じく森見登美彦原作の「ペンギン・ハイウェイ」一度観たがもう一度観たい。



Title

沈黙 -サイレンス-



仏教学部1年
鳥山 帆乃日

監督 | マーティン・スコセッシ

A1 大学受験前に宗教とは何か？を掴むために観た作品で、現在は大学で仏教を学んでいるが、その学びの土台になってくれた映画だと思うから。

A2 弾圧に負けて「神」への信仰を捨てたかのように見えた師が、主人公とのふとした会話の中で「神」という話題を出したシーン。

A3 宗教とは何か、神とは誰かを考えさせられる

A4 好きな俳優が出演している「ダブルドライブ」



Title

ロッタちゃん はじめてのおつかい



経済学部経済学科4年
玄葉 千晶

監督 | ヨハンナ・ハルド

A1 5歳児の自由奔放さにイラッとする面もありつつ、何をするか先が見通せない行動が見ていて面白い！

A2 クリスマスの日にツリーが手に入らなかったロッタちゃんが出た行動にびっくり。

A3 スウェーデン 5歳児の行動に注目！

A4 「ロッタちゃんと赤い自転車」



Title

100歳の華麗なる冒険



経営学部経営学科4年
花井 拓

監督 | フェリックス・ハーングレン

A1 100歳のおじいちゃんが繰り広げる悪気のない行動とシュールなギャグが楽しい作品。とにかく「おもしろい」が詰まっている。

A2 冒頭部分に登場した猫がキツネに襲われてしまった場面。

A3 20世紀の国際情勢に立ち会ってきた100歳のおじいちゃんの新たな冒険

A4 「それぞれのヒーローたち」



経営学部
教授 猿山 義広

Title

ロング・グッドバイ



監督 | ロバート・アルトマン

A1 好きな小説家レイモンド・チャンドラー原作で、好きな映画監督ロバート・アルトマン作品で、好きな俳優エリオット・グールド主演の映画だから。

A2 飼い猫に普段とは違うキョットフードを食べさせるために普段食べさせている缶詰に詰め替えて与えたのに、そっぽ向かれてくさる場面。(原作にはなし)

A3 “Yeah, I even lost my cat.”(最後のセリフ)

A4 ロバート・アルトマン監督作品としては「ナッシュビル」(1975年)、エリオット・グールド主演作品としては「カブリコン・1」(1977年)。



文学部社会科学部社会学専攻2年
木下 智貴

Title

ジョン・ウィック



監督 | チャド・スタエルスキー

A1 最近観た中で面白かったから。雰囲気とお洒落感、そしてシンプルかつ派手なガンアクションが休日夜に観るのにGood。

A2 もちろん銃を使ったアクションだが、主人公の心の葛藤も見どころ。

A3 元のキャッチコピー通り「DON'T SET HIM OFF」

A4 スプラッター映画「ハロウィン」のリメイク版と、次の「アベンジャーズ」。



法学部法律学科3年
鈴江 誉志

Title

カラコエの花



監督 | 中川 駿

A1 「LGBT」をテーマに描かれている作品だが、この作品の主題は思いやり。必ずしも思いやりが人を救うわけではないことが、繊細に描かれている。

A2 ラストの朝の出欠シーン。胸がしめつけられる。今話題の今田美桜さんの演技が光っている。個人的には裕也役の笠松将さんの演技がとても好き。

A3 誰かの優しさが、誰かを傷つけた。

A4 「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」。普段MVを手がけている監督で、とにかく映像が綺麗でセンチメンタルな仕上がりになっているみたいなので楽しみ。



経営学部経営学科1年
石山 夏野

Title

エイリアン vs. プレデター



監督 | ポール・W・S・アンダーソン

A1 「エイリアン」、「プレデター」は知っていても、この作品はあまり知らないだろう。人をここまで雑に扱う作品はめったにない。ぜひ一度観て、自分とは何かに向き合ってほしい。

A2 ラストで主人公とプレデターが心を通わせる場面。仲間の証をプレデターが主人公に送ったシーンは、涙なしには見られない。

A3 モンスターの戦い。人間とは何か。

A4 プレデターの最新作。エイリアンシリーズも見返したい。



経営学部市場戦略学科1年
荒木 涼那

Title

アメリ



監督 | ジャン＝ピエール・ジュネ

A1 好きな映画と聞いて一番最初に思い浮かんだ。世界観が好きで、アメリ(主人公)と私自身が重なるところがある。

A2 アメリがお父さんの好奇心を少しでも引き出すために、庭のドール人形が旅をしているような手紙を書いて、お父さんを外に連れ出す場面。

A3 永遠の子供心

A4 「セラヴィ!!」ベテランのウェディングプランナーのお話。



教務部
梶原 修作

Title

七人の侍



監督 | 黒澤 明

A1 ストーリー構成、映像技術、演出等、64年前の映画とは思えない物語の壮大さと迫力に衝撃を受けたため。7人の「侍」たちのそれぞれの個性も良い。

A2 数多くありますが、農民たちが落ち武者狩りをしていたことが判明し、それに対して憤慨する侍たちを菊千代(三船敏郎)が一喝するシーン。

A3 世界が震撼した古典的傑作にして日本映画の金字塔!!! (3時間を越える大作だが、一生に一度は観るべき作品)

A4 「羅生門」(黒澤明監督)「HANA-BI」(北野武監督)「マンデラ 自由への長い道」(ジャスティン・チャドウィック監督)



ITリテラシー

文学部英米文学科4年 小倉 匡人

私を含め「大学卒業後、社会へ出るにはパソコンのスキルアップが必要だ」と思っている人は多いと思います。その「必要」という思いに添えてくれるのが、「ITリテラシー」です。この授業は4つのクラスがあり、それぞれのクラスで文章表現力やプレゼンテーション力アップを目指すので、受講希望者は自分が高めたいと思うスキルに合わせて選択することができます。

私自身はWordもPowerPointも、基礎的なスキルは身につけていたので、余裕を持って授業に参加できましたが、更にこの授業を通して仕事を行う上での「圧倒的な効率化」を学ぶことができました。卒業後は「少しの時短を積み重ね、より多くの時短へと繋げる」ことにより、質の良い働

き方ができるのでは？と期待しています。

今や、どこの会社に就職しても必ずと言ってよいほどインターネットやパソコンを使って業務をすることから、パソコンスキルは社内で最も重宝され、しかもスキルがあって当たり前な社会。このような社会に突入する準備として、在学期間中のパソコンスキルアップは必須です。

「ITリテラシー」のお薦めのポイントは、①パソコンスキルで最も重要な「タッチタイピング」（手元を見ないで入力する打法）の習得を基本に、②先生の丁寧な指導のもとに沢山の課題を解く中で、楽しみながらスキルアップできる点です。自信がつき、後にそれが自分の「強み」となる実感が得られます。さあ、皆さんも受講してみませんか？

イマドキの駒大生を調査！

あなたはどっち派!?

秋といえば？



芸術の秋
49%

スポーツの秋
51%

音楽を満喫したい!

部活の試合が多い!

経済学部経済学科4年
小幡 智彦

経営学部経営学科3年
山口 みなみ

映画は？



洋画派
61%

邦画派
39%

ド派手なアクション!

身近に感じられる!

文学部地理学科
地域環境研究専攻3年
岩田 岳

経営学部市場戦略学科3年
小谷 真由

好きなのは？



きのこの山
26%

たけのこの里
74%

カリカリ感が好き!

チョコが多い気がする!

文学部国文学科4年
笠原 優一

経済学部経済学科1年
開 春奈(左)
経済学部経済学科1年
有賀 仮甫(右)



国際交流体験レポート

東国大学校

交換留学



大学院人文科学研究科仏教学専攻
東国大学修士課程

キム ヒョンソン

私は韓国の曹溪宗僧侶として、世界へ仏教の参禅修行を伝えつつ、人類の精神文化の発展と健康な生活に寄与している日本曹洞宗の禅仏教を勉強するため来日した交換留学生です。

駒澤大学はそのような曹洞宗の人材養成の中心的な教育機関として、また日本の禅の学問的な分野について一番よく学べる場所ではないかと思っています。駒澤大学は世界の各地から留学生が集まるので、彼、彼女らと交流しながら関係を深く築くことができるという長所を持っています。

映画「アバター」のパンダ惑星で全ての生物が神経網で繋がっているように、地球上の一切の存在は因縁によって結ばれています。仏教ではこれを菩薩精神と言います。留学生は自らの体験を通じて互いを理解し、世界中の様々な問題を解決するための貴重な存在にならなければなりません。私たちの勉強はその道を見つけることにあり、私たちは留学生という立場を深く自覚しなければなりません。なぜならば、国境を越えて日本へ来た私たちが、誰よりもこのことが深く分かる立場にいるためです。



最後列左から3人目がキムさん

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

このプログラムは、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。採用学生は、給付型奨学金の受給のみならず、独自の研修プログラムにより「産業界を中心に社会で求められる人材」、「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」へと育成されます。支援対象となる留学期間は28日間から2年以内で、応募者が自由に計画を組み立てることができます。交換留学など単位修得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど、多様な活動が支援の対象となります。応募倍率が大変高く、審査も厳しいものとなっております。そのため、応募には念入りの準備が必要となりますので、早めに国際センターにご相談ください。

ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所

短期語学セミナー



文学部歴史学科外国史学専攻2年

亀山 さくら

日本から飛行機を乗り継いで12時間。着いたのはエルベ川上流に位置する北ドイツの美しい港町、ハンブルクである。季節は秋に移行しつつあり、乾燥した気候がさらに体感温度を下げ、肌でドイツに来たことを感じさせてくれた。

ドイツと日本の違いは数え上げたらきりが無い。例えば、スーパーのレジはベルトに乗せた商品を店員さんがスキャンした後しれっと投げってくるし、怖いし（ドイツ人もドイツのスーパーの店員さんは怖いと言っていた。これには思わず笑ってしまった）、電車には1車両1わんちゃんくらい犬がいる。

そんな中で、私がドイツで一番感じた日本との違いは、ドイツの人たちはどんな相手であろうか、一人の人間として関係を紡いでいるということである。ドイツ人は議論が好きというが、それは相手に対して無駄な遠慮がなく、対等の立場とお互いを認め合っているからこそ議論も活発になるのだと思う。授業中、先生に対して親称「du」を使うことからもその様子うかがえる。私は先生に対して「du」を使うことに少なからずの抵抗を感じたが、彼らにとってはむしろ逆に敬称を使うと距離を感じてしまうらしい。階級や社会的地位、年齢に違いはあるけれど根本的に一人の人間同士として付き合うというスタイルが興味深かった。

「旅の恥は掻き捨て」。これは今回の語学研修中私の背中を押し続けてくれた言葉だ。異国の地で足が凍ったとき、この言葉が私を励まし続けてくれた。今後語学研修を考えている人は、肯定的な意味でこの言葉を自分にかけてあげて欲しい。自分が知らなかった挑戦的な一面を知ることになるはずだ。



キャンバスにて現地の学生と

国際センターよりお知らせ

クィーンズランド大学・来日プログラム



■ ボランティア学生の募集

本学協定校のオーストラリア・クィーンズランド大学の留学生が日本語・日本文化を学ぶため、11月23日(金)～12月16日(日)の間、駒澤大学にて研修を行います。研修期間中、留学生の学習・生活を支援し、彼らと交流してみませんか? 興味のある学生はぜひ募集説明会へご参加ください。英語力は特に必要ありません。

▼ 募集説明会

日時	10月17日(水) 12時15分～12時50分
場所	1号館203教場



■ ホストファミリーの募集

留学生のホームステイを受け入れてくれるホストファミリーを募集します。通学に便利な近距離の家庭を希望します。

ホームステイ期間:11月24日(土)～12月15日(土)

※詳細については国際センター事務室にお問い合わせください。

TEL(03)3702-9732

三船ゼミは国際関係及び国際政治を専門とするゼミです。現在は3・4年生の計11人が所属しています。ディベート等の対外的な活動は行わず、授業時間での個人研究の報告を主な活動としています。ゼミ内での発表ではあるものの、「客観的な根拠を示す」、「筋道を立てて論理的な結論を導き出す」ことをルールとして、緊張感を忘れずにそれぞれの研究を報告し合っています。

当ゼミでは国際関係という広い枠の中で、各人が自由にテーマを設定して研究するため、互いの専門分野について十分な知識を有していないことも時にはあります。ゆえに、ゼミ生は事前に送られてくるレジュメを基に、その週の報告者全員分の発表内容について予習を済ませておくことが求められます。毎週の準備は決して容易ではありませんが、最低限の知識を持ってゼミに臨むことで、発表に対する理解度を深められるだけでなく、報告者に的確な意見や質問をすることができます。一人ひとりの研究について全員で学びながら、議論を重ねることによりレベルの高いものに昇華させていくことができるのが三船ゼミ最大の特徴です。

また、前述の「客観性」・「論理性」は議論の際にも重視



されています。こうした基本を意識して繰り返すことで、回を増すごとにゼミ生個人の能力は、思考力、発言力といった面で着実に向上していきます。4年生はもちろん、3年生も前期を見ただけでも大きな成長が見受けられました。国際関係について学ぶだけではなく、社会で必要とされる力も磨かれるのが当ゼミの魅力と言えるでしょう。

日本全国、
世界からも学生が集う駒大。
故郷のいろんなことを
アピールしていただきます。

お国自慢

第7回



経営学部
市場戦略学科2年
巻瀨 奈央
出身高校：
岡谷南高等学校

今回のお国自慢

長野県



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

〈長野県〉ってこんなところ

私の出身地である長野県は、海に面せず8県に面した山岳地帯にあり、県歌である「信濃の国」が有名です。また、味噌の生産量・消費量も日本一で、信州味噌、信州そばなども有名です。県民性は、勤勉、議論好きで頑固、実学を尊ぶ気風が強いです。そして、日本有数の長寿県でもあります。また、人材育成に大変熱心で全国的に

も「教育県」と言われています。そのため、「白文帳」という長野県でしか使われていない漢字練習帳があり、中学生の時は毎日1ページの宿題がありました。

わさび・クルミ・レタス・白菜・エノキが、生産量全国第1位を占めており、信濃川(367km)は日本一長い川です。

出身の有名人は、「君の名は」の映画監督・新海誠さんやお笑い芸人「オリエンタルラジオ」の藤森慎吾さんです！

巻瀨さんのおすすめ

食べ物

「くるみやまびこ」

長野県産特製クルミキャラメルをサクサクのクッキーで包んだ、モンドセレクション13年連続最高金賞を獲得している、地元で長年愛されるご当地スイーツです。



名物

「御柱祭」

7年に1度しか開催されない長野県諏訪市の式年祭で、諏訪大社の神聖な行事として1200年以上続く日本3大奇祭の一つです。

これぞ長野弁!

【ずく】

意味：「根気・根性・辛抱強さの様な事を「ずく」と言います。これは長野県全域で使います。
例文：「ずくませ！」→「根性だせ！」



黒口那津さんは、オータムフェスティバル(大学祭)で開催された「ミス駒澤コンテスト2017」でグランプリを獲得。その後、全国のミスキャンパスから日本一を決定する日本最大級のミスコンテスト「Miss of Miss CAMPUS QUEEN CONTEST 2018」でも見事グランプリに輝きました。

私は、3年生の時にミスコンに出場しました。サークル活動や部活動はしていなかったため、大学生活でしかできないことがしたくて出場を決めました。活動中はとても大変でしたが、グランプリをいただくことができ、さらに、ミスオブミスまでグランプリになれるとは思っていませんでした。

私の人生は、駒澤大学に入学してから大きく変わりました。これまでは、いつも失敗や恥から逃げてきましたが、一歩踏み出した先に見えた景色は忘れられません。

私のことを見て、何かにチャレンジしてみようという勇気を与えられる存在になれるよう、これからも頑張っていきたいと思います。



プロフィール
生年月日: 1996年6月9日
出身地: 岡山県
身長: 150cm
血液型: O型
特技: ウクレレ

在外研究 COLUMN Vol.8



アメリカの「借金時計」

経済学部准教授 小西 宏美

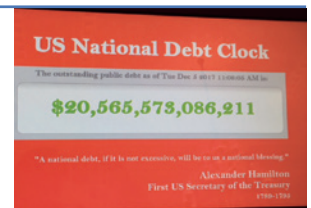
2017年4月から1年間、アメリカ・ニュージャージー州にあるSaint Peter's Universityに滞在していました。大学はジャージー・シティという町にあり、ニューヨーク・マンハッタンまで鉄道で20分程度という便利な場所にあります。大学では若い学生たちとともに授業を受けたり、自分の研究テーマについて報告する機会をいただいたり、と大変有意義な時間を過ごすことができました。アメリカの大学らしく教員も職員もお互いファーストネームでよび、アットホームな雰囲気の中で研究することができたのは大変幸運でした。

バス1本で行ける気軽さもあり、ニューヨークへ出かけることも度々でした。マンハッタンのタイムズ・スクエアの近くには、いわゆる「借金時計」とよばれるNational Debt Clockがあります。アメリカが財政赤字を膨らませ

た1980年代末に国債発行が増加することを憂いた投資家が設置したもので、今現在の国家債務残高がどれくらいあるのかを電光掲示板で表示しています。毎秒、急激な勢いで増加していく数字をみるととても怖くなりますが、設置した投資家はまさに人々にそのような形で警告を発したのです。さらに南に下ったウォール街のアメリカ金融博物館にも同じ借金時計があります。そこには、借金残高の表示とともに以下の言葉が記されています。

「国家債務は、それが過度なものでない限り、我々に恵みをもたらすであろう」

アメリカ合衆国初代財務長官 アレクサンダー・ハミルトン



KOMADAI QUIZ Q.1

駒沢キャンパス内の
いちろうの木の数はいくつ?

- A. 7本 B. 6本
C. 5本 D. 4本

KOMADAI QUIZ Q.2

駒澤大学図書館の蔵書数は?

- A. 約180万冊 B. 約126万冊
C. 約82万冊 D. 約54万冊

■ 正解者の中から抽選で5人の方に駒大オリジナルグッズ「サーモスタンプラー」・「Tシャツ」・「マフラータオル」をプレゼント。右記QRコードよりフォーマットに沿って応募してください。必ず氏名・学生番号を明記してください(記入がない場合は無効となります)。応募は一人一回のみ有効です。応募締切は、11月30日(金)です。当選者には総務部広報課より連絡します。クイズの正解は学園通信335号で発表します。



応募方法

クイズに答えて
限定グッズをもらおう

駒大
KOMADAI QUIZ
クイズ

平成30年度科学研究費助成事業

科学研究費助成事業（科研費）は、人文学・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる学術研究を格段に発展させることを目的とする競争的資金であり、ピアレビューにより、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。平成30年度駒澤大学では、今年度からの新規課題13件、昨年度以前からの継続課題37件、合わせて50件の研究課題が採択されています。

●採択者一覧

※GMS学部＝グローバル・メディア・スタディーズ学部

研究種目	継続/新規	所属	職名	氏名	研究課題名	
基盤研究(B)	継続	文学部	教授	片岡 栄美	日本のディスタンクシオンと社会構成意識 一新しい文化資本と実践・意識の多元性	
	継続	仏教学部	講師	加納 和雄	ヒマラヤ地域における梵文写本の請来者および伝来経路の同定	
	継続	仏教学部	准教授	藤井 淳	親鸞理解の変遷についての総合的研究—江戸時代注釈と聖徳太子信仰の分析を中心として	
	継続	文学部	教授	近衛 典子	上田秋成の俳諧研究のための資料整備と基礎的研究	
	継続	文学部	教授	熊本 史雄	「近代史料学」構築のための基礎的研究—地方行政機関の公文書管理規程の収集と分析—	
	継続	文学部	教授	酒井 清治	東国における初期仏教文化の導入と展開	
	継続	文学部	教授	松信 ひろみ	世代間関係、ネットワークからみた中期から高年期への移行と夫婦関係に関する研究	
	新規	文学部	教授	山田 信行	ポスト資本主義の展望と資本主義の起源—移行論の再構築に向けた理論的・歴史的研究	
	継続	文学部	教授	藤田 博康	クライアントのニーズと嗜好を尊重した臨床心理援助実践のあり方に関する総合的研究	
	継続	経済学部	教授	浅田 進史	19・20世紀世界経済統合のなかのドイツ植民地経済論	
	継続	経済学部	准教授	井上 智洋	長期の貨幣政策とデフレ不況	
	継続	経済学部	准教授	江口 允崇	ゼロ金利下での政府支出は有用か-DSGEモデルを用いた理論分析と日米の実証分析	
	継続	経済学部	教授	北條 雅一	児童生徒および教員の観点からみた適正学校規模に関する経済学的研究	
	継続	経済学部	教授	水野 祥子	イギリス帝国学ネットワークの再編と知の生産—英領インドの脱植民地化を中心に—	
	継続	経済学部	教授	渡邊 恵一	戦時・戦後復興期の民営鉄道—経営の多様性—	
	継続	法学部	教授	内海 麻利	日仏の都市計画法制における一般利益と個別利益との関係に関する研究	
	新規	法学部	准教授	奥村 公輔	ヨーロッパにおける二重機能型国務院の比較法的研究—権力分立と人権保障の観点から—	
	新規	法学部	教授	北野 かほる	法務と訟務の乖離—中世後期イングランドにおける“rape”民事侵害訴訟—	
	基盤研究(C)	継続	法学部	教授	坂本 達也	従属会社の少数株主保護のための法規制に関する比較法研究
		継続	法学部	教授	原田 啓一郎	地域包括ケアシステムによる高齢者の住まいとケアの保障—地域居住の実現への法的研究
継続		法学部	教授	山崎 望	「ポスト代表制」時代の民主主義—新たなコンステレーションの模索	
新規		経営学部	教授	菅野 佐織	ライブイベントにおけるミックス・エモーションと消費者の購買行動との関連	
継続		経営学部	教授	小本 恵照	フランチャイズに関する理論的・実証的研究：ビジネス・モデルからのアプローチ	
継続		経営学部	教授	日野 健太	フォロワー視点によるリーダーシップに対する期待・失望のメカニズムの解明	
継続		GMS学部	准教授	高 媛	戦争と観光—戦前期「満洲」における戦跡ツーリズムに関する歴史的研究	
新規		GMS学部	教授	芝崎 厚士	近代日本の国際関係思想の形成 「未知との出会い」としての国際文化交渉	
新規		GMS学部	教授	服部 哲	聴覚障害児の言語習得を支援するための手話学習ソフトの研究開発	
新規		GMS学部	講師	松前 恵環	個人情報保護法制における「同意」の意義と課題—情報技術の進展に即した方針の提示	
継続		総合教育研究部	教授	小川 順敬	久米島の明治大正期の郷土史および民俗資料の整理と研究	
新規		総合教育研究部	准教授	別所 裕介	ネパール・ヒマラヤ地域における中国主導の経済開発と「仏教の政治」	
継続		総合教育研究部	教授	小沢 誠	多重分岐曲面の3次元多様体への埋め込み(グラフ理論と3次元多様体論の融合)	
継続		総合教育研究部	准教授	上田 倫史	総合的な受容・産出語彙の測定テスト開発とその予測値に基づく学習支援システムの構築	
新規		総合教育研究部	准教授	勅使河原 三保子	Vocal stereotyping: An acoustic and perceptual study of how listeners make inferences about speakers	
継続	総合教育研究部	教授	西村 祐子	伝統的皮革業集団の多文化比較におけるディスコース分析の可能性		
継続	総合教育研究部	准教授	三好 俊介	パリ亡命ロシア文壇の言説空間に関する研究：「亡命文学」概念の生成現場として		
新規	総合教育研究部	教授	伊藤 茂樹	非行少年の社会復帰支援と学校教育のあり方に関する教育社会学的研究		
挑戦的萌芽研究	継続	文学部	教授	須山 聡	ネオ内発的発展論に基づく「限界集落」の生存戦略の構築—住民との協働による実践—	
	新規	経済学部	准教授	西村 健	私的情報を持つプリンシパルによるメカニズムデザイン：オークション理論への応用	
	新規	法学部	講師	梅川 葉菜	アメリカ連邦制と三権分立制の相互作用：抑制均衡を担保する州政府の台頭	
若手研究	新規	医療健康科学部	講師	馬込 大貴	Radiomicsに基づく放射線治療支援システムの開発	
	継続	文学部	准教授	倉田 容子	宮崎夢柳作品における女性表象と「自由」の概念との連関性についての研究	
	継続	文学部	講師	平子 達也	出雲方言の地理的変異に関する研究	
若手研究(B)	継続	文学部	准教授	角道 亮介	西周都城の性格に関する考古学的研究	
	継続	文学部	准教授	高田 良太	コンスタンティノープルのヴェネツィア人に関する研究	
	継続	文学部	講師	土田 久美子	共生型マルチエスニック・コミュニティ形成の社会的条件—ロサンゼルス事例として	
	継続	経済学部	准教授	松本 典子	現代資本主義社会における労働者協同組合の機能とガバナンス	
	継続	経営学部	講師	武谷 慧悟	苦情顧客の類型化に基づく補償と説明を基軸としたサービスリカバリー戦略の構築	
	継続	GMS学部	講師	阿部 康人	福島第一原子力発電所事故以降の市民データの社会的意義	
	継続	法学部	講師	高田 実宗	現代型交通政策の法的枠組み論	
研究活動スタート支援	継続	法学部	講師	高田 実宗	現代型交通政策の法的枠組み論	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	継続	経済学部	教授	水野 祥子	1960年代の国際開発援助とイギリス植民地科学者—アフリカへの技術援助を中心に(国際共同研究強化)	

研究こぼれ話

花粉は動かない。

法科大学院 教授

柴谷 晃



弁護士業と掛け持ちの実務家教員なので、研究と言っても、弁護士の仕事が暇なときに、紀要に研究ノートを投稿している程度だ。最初の紀要に「民法186条2項の推定規定の性質は、どの教科書でも例外なく、真正の法律上の推定の典型例と挙げているが、そうではなくて暫定真実の規定だ」という話を載せた。同条項が真正の法律上の推定だという見解を前提として真正の法律上の推定と暫定真実との違いを理解しようとしても、私にはさっぱり分からず、自分の無能を実感していた。しかし、よくよく考えてみたら、教科書の記述の方が間違いだということに気付いた。兼子一先生という民事訴訟法

学の泰斗が真正の法律上の推定だと言っているものだから、あらゆる教科書が、何も考えずに兼子先生の見解を引き写していただけたのだと思う。偉い人の書いていることは何でも正しいのだろうという思い込みがある。そこで痛感したのは、偉い人の言うことこそ鵜呑みにしてはいけないということである。

今年2月に逝去された科学教育者の板倉聖宣さんの本の中に、「理科の教科書のブラウン運動の説明で、『水に花粉粒を落とすと水の分子の衝突によって激しく動く』と書いてあるので、生徒の前で実験して見たが、花粉がちっとも動かないので、自分の実験技術が稚拙なのだと思っている先生方が沢山いる。動くのは花粉自体ではなくて、花粉が壊れて花粉の中から出てきた微粒子なのである」とあったのを思い出した。誤解を招くような教科書の記述の方が悪い。教科書に書いてあることだから全て正しいなんて、思わない方がいい。

オータムフェスティバル 2018 開催



皆さんこんにちは！オータムフェスティバル 2018 実行委員会です。今年度の大学祭は 11 月 3 日(土)・4 日(日)に開催します。今年のテーマは「PRIDE OF KOMAZAWA」。このテーマは駒大生としての誇りを胸に大学祭を盛り上げていこうという思いが込められています。今年開催されるいくつかの企画をご紹介します！

駒澤歌うま選手権 2018

昨年からスタートした企画で、駒澤大学内で一番歌が上手い人を決める大会です！昨年はファイナリストの歌唱力も高く、大変盛り上がりました！ファイナリストを決定するためにオーディションを一般公開で開催し、出場する 7 人を決定します！今年誰がチャンピオンの座を手にするのだろうか…



K-pro

K-pro とは、坐禅とスポーツを扱った企画です。坐禅企画では、坐禅・写経体験、禅文化歴史博物館ツアーなどを行い、スポーツ企画では部活動紹介や駒大スポーツの雑誌配布、陸上競技部への寄せ書きなどを行っています。毎年沢山の方にご協力いただいている寄せ書きコーナーでエールを伝えよう！！



ミス・ミスター駒澤 コンテスト 2018

駒澤大学の顔であるミス駒澤・ミスター駒澤を決めるイベントです。各大学で選ばれたミス・ミスターのグランプリの中から、さらに頂点を決める大会において 2 年連続で駒澤大学の学生がグランプリに輝き、いい波に乗っています！今年の顔は果たして誰になるのか乞うご期待！



駒澤プロデュース研究会

駒澤プロデュース研究会(KPC)が主催する今年のオータムライブには、白昼編に「フレンズ」、月夜編に「ACIDMAN」と、メジャーグループ 2 組が出演します。学生生活の思い出になること間違いなし！学生チケットは大学内特設ブースにて販売中です。公式 Twitter (@komazawa_KPC)



フレンズ



ACIDMAN

ここで紹介しきれなかった企画やオータムフェスティバルの最新情報は公式Twitterとホームページにて随時更新中！是非チェックしてみてください！

公式 Twitter



公式 ホームページ



オータムフェスティバル2018実行委員会

第12回学長学業奨励賞が222人に授与されました。

この賞は、前年度の各学科成績上位者若干名を学年ごとに表彰するものです。

<仏教学部>

【2年次生】平川 竜太・加藤 大嗣・朝比奈 征宏・中條 尚輝・白井 隆悦

<仏教学部禅学科>

【3年次生】高田 清文・山口 拓真
【4年次生】西川 淳元・丹羽 道海

<仏教学部仏教学科>

【3年次生】鳥澤 芳峻・伊藤 彩子・縄田 麻友
【4年次生】栗木 亮学・鈴木 昌成・長澤 花桜里

<文学部国文学科>

【2年次生】須藤 紗貴・内田 好美・石井 百花
【3年次生】長田 麻友子・遠藤 万友・七條 光咲
【4年次生】小松崎 彩・高木 結衣・木菱 克海

<文学部英米文学科>

【2年次生】後藤 彩巴・真下 直子・須原 花織
【3年次生】佐藤 由梨佳・神田 桃・木村 創
【4年次生】鈴木 涼太・山下 宣篤・野澤 稚佳奈

<文学部地理学科地域文化研究専攻>

【2年次生】中村 和奏・太田 悠文
【3年次生】横尾 空・清水 俊行
【4年次生】中村 麻友・古川 雄太

<文学部地理学科地域環境研究専攻>

【2年次生】吉見 花絵・松本 美里
【3年次生】加藤木 みさ・伊藤 加鈴
【4年次生】亀山 史紀・鈴木 悠生

<文学部歴史学科日本史学専攻>

【2年次生】小笠原 悠・寺嶋 桜織
【3年次生】北原 拓実・柳瀬 翠華
【4年次生】天野 由香里・小川 遥香

<文学部歴史学科外国史学専攻>

【2年次生】高野 弥生・前田 竜
【3年次生】菊地 里沙・志村 雅人
【4年次生】高瀬 海人・西村 佳純

<文学部歴史学科考古学専攻>

【2年次生】鈴木 里佳
【3年次生】宮崎 滯菜
【4年次生】鈴木 翔哉

<文学部社会学科社会学専攻>

【2年次生】毛塚 友菜・橋本 采奈
【3年次生】藤本 尚世・板坂 美空
【4年次生】福富 実輝也・齊藤 南

<文学部社会学科社会福祉学専攻>

【2年次生】柿沼 優菜・石橋 里菜
【3年次生】杉野 七海・廣住 沙紀
【4年次生】高見 佳乃子・前田 美沙

<文学部心理学科>

【2年次生】岩崎 亜実・池田 英
【3年次生】井町 美沙緒・荒引 寛崇
【4年次生】乾原 継桃・大谷 修

<経済学部経済学科>

【2年次生】東 駿太郎・阿部 眞彩・安岡 彩夏・田崎 智・斉藤 慶樹・高橋 唯・井山 智陽

【3年次生】吉田 宏子・秋山 清人・蓮見 美紗・持田 和花・平林 実華・山村 香乃・佐藤 帆夏

【4年次生】鄧 霞・松嶋 多寿久・宇佐美 奈穂・三上 航・大西 和人・KITTI PHATSARUT・長田 茉佑子

<経済学部商学科>

【2年次生】中村 琢・由利 陽良・鈴木 里穂・黒川 南々帆・小澤 拓

【3年次生】坂入 匠・福原 康人・北野 哲平・片山 洋介・狩野 健太

【4年次生】本間 柁之・坪内 沙耶・齋藤 英璃奈・村瀬 望・柳原 悠真

<経済学部現代応用経済学科>

【2年次生】佐藤 千佳・白井 晴紀・萩原 和優
【3年次生】植田 黎磨・内田 詩乃・中崎 希望

【4年次生】尾池 一樹・南 康太・久保 友亮

<法学部法律学科フレックスA>

【2年次生】藤田 尚久・吉田 沙南・田中 俊輔・川口 可夏・浅見 航輝・得居 滯

【3年次生】金子 優斗・富山 尚恵・千葉 大樹・富上 愛梨・池田 美咲・鶴ヶ崎 裕美子

【4年次生】小宮山 愛理・板倉 賢・松永 真生子・鈴木 朱里・玉木 玖実子・岡口 悠莉恵

<法学部法律学科フレックスB>

【2年次生】舞 卓也・松浦 将吾・金井 翔吾・小宮山 新八
【3年次生】石 和彬・小田 紗香・丸山 隆一・國松 沙樹

【4年次生】仁藤 光一・浅岡 和也・佐々木 聖優・勝又 菖太

<法学部政治学科>

【2年次生】関 陽菜・鬼島 浩介・小川 敦・佐々木 智央
【3年次生】奥寺 彩乃・樋口 晴香・雨宮 克弥・清水 陸

【4年次生】中村 茜・木村 俊哉・柴田 優斗・宮本 篤志

<経営学部経営学科>

【2年次生】松永 萌花・永井 俊平・杉山 怜・浅野 莉菜・渡辺 千晶・栗原 優人・中田 知里

【3年次生】新井 翔太・山岸 公輝・武井 あす香・奥山 実咲・熊谷 香穂・折口 萌・岡本 稚菜

【4年次生】有賀 万海・林 華鳳・山本 愛梨咲・橋本 宗輝・杉崎 拓摩・平塚 すみ香・飯田 英稔

<経営学部市場戦略学科>

【2年次生】奥原 昂太・阿部 巴音・坂間 俊文・塩田 柚香子
【3年次生】前田 千咲・峯岸 春菜・中里 虎丸・浅井 貴柚

【4年次生】木村 名・宮川 瑞生・高木 優介・吉沼 優衣

<医療健康科学部診療放射線技術科学科>

【2年次生】杉戸 千夏・近藤 有香

【3年次生】藤井 恭平・西澤 慎

【4年次生】安居 虹希・島山 和志

<グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科>

【2年次生】肥喜里 拓真・袖山 龍太郎・山口 心愛・丹沢 千文・近藤 鈴奈・松野 友美

【3年次生】藤本 一輝・川崎 大輝・山城 涼・関 明日香・手塚 彰吾・青野 和真

【4年次生】信田 雄也・内山 未理・高原 柊子・小原 友佳里・尾崎 友美・増井 彩夏

課外活動を通じた地域貢献事業

駒澤大学では、課外活動を通じた地域貢献事業を推進しています。これは、①大学と地域社会との交流、②地域貢献を通じた課外活動による学生の自己形成促進、③地域における共生社会の実現、④近隣住民に教育活動の機会を提供することを目的としており、昨年度までは体育会の協力により「スポーツフェスティバル in 玉川」を開催してきました。

今年度からは、文化系サークル、音楽系サークルにも活動の機会を設けるべく、「駒澤こども大学 in 駒沢」と「ジョイントコンサート（仮称、2019年3月17日(日)開催予定）」も併せて開催することになりました。

こども大学

7月29日(日)に駒沢キャンパスで「駒澤こども大学 in 駒沢 2018」を開催しました。初開催となった今年度は、972人の方々にご来場いただきました。

当日は、16団体が「夏休み 自由研究プロジェクト」と題して様々なプログラムを実施しました。「自由研究のお手伝い」をコンセプトに、「ろくろ体験」や「抹茶と紅茶の飲み比べ」、「落語体験」など、それぞれのサークルの活動内容に基づいたプログラムを用意し、作品やワークシートを持ち帰っていただきました。

また、音楽系サークルによる「こどもコンサート」では、楽器の生演奏を披露。「プレーパーク」には囲碁や将棋などのテーブルゲームを用意し、参加者同士での対戦や、大学生との対戦を楽しんでもらいました。



参加団体

陶芸倶楽部	漫画倶楽部	ギタークラブ
茶道部	落語くらぶ	ギターマンドリン倶楽部
紅茶文化研究会・喫茶館	管弦楽団	囲碁部
天文愛好会	手話サークル「かえで」	将棋愛好会
参禅部	心理学研究会	テーブルゲーム研究会
書道部	中国語研究会	総合情報センター
鉄道研究会	スペイン語研究会	学生有志スタッフ
美術部	ポコ・ア・ポコ	

サークル訪問 153回

ジャズダンスサークル FLAP

今回紹介するのは、今年で創立20周年を迎えたジャズダンスサークルFLAP。週2～3回活動しており、年に数回ある公演やイベントに向けて日々練習をしている。

ジャズダンスと聞くと、クラシックなイメージを持つ人もいるかもしれないが、幹事長の佐藤由奈さん（法律3）によると、クラシックバレエからジャニーズグループのダンスまで、全てのダンスの基礎となるものがジャズダンスにあたるそうだ。

FLAPは他の大学に姉妹サークルが存在し、連盟を結成している。加盟校でダンスプロジェクト「α（アルファ）」を結成しており、ここを通じて他大学の学生と交流している。



佐藤さんは大学に入学するまでにチアダンスの経験はあったが、ジャズダンスは知らなかったという。FLAPにはそう

いったダンス経験者から初心者まで幅広い人が在籍しており、劇団四季に所属していたプロコーチの指導を受けている。

また、公演に向けた練習以外にもバーベキューやクリスマスパーティーを行い、部員の親睦を深めている。部員同士の仲が良く、「どのサークルよりもダントツで仲が良いのでは」と話す。

FLAPは現在、12月9日(日)に東京都福生市で行われるダンスプロジェクト「α」のコンテストに向けて練習を重ねている。佐藤さんは「今年は節目の年。今年こそは決勝ステージに進出したい」と言葉に力を込めた。

（学生記者 駒大スポーツ所属
法学部政治学科3年 田上 佳雅）

Twitter <https://twitter.com/flap2018>
Instagram <https://www.instagram.com/flap-jazzdance/>

文部科学省の「トビタテ！留学 JAPAN日本代表プログラム」に選出

文部科学省が展開する留学促進キャンペーン「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」の第9期生派遣留学生として、氏家瑠美さん(グローバル・メディア3)と金澤麻衣さん(グローバル・メディア2)が選出されました。



GMS学部の各務洋子ゼミが100円朝食のメニューを提案した「学食の野菜革命」を企画

各務ゼミが7月9日(月)～13日(金)に、学生食堂で提供している100円朝食のメニューを提案したプロジェクト「学食の野菜革命」を企画しました。学生が野菜を食べる習慣を身に付けることを目的に、学生食堂を運営する銀座スエヒロカフェテリアサービスの協力のもと、1日限定200食の100円朝食で実施しました。



経済学部の長山宗広ゼミが愛知県常滑市で地域活性化を提案

長山ゼミが、8月27日(月)～30日(木)に愛知県常滑市でフィールドワークを行いました。常滑市内の経営者や住民などに聞き取り調査を実施し、地域活性化の提案を行いました。



経済学部現代応用経済学科ラボラトリが経済産業省中小企業庁「創業機運醸成事業」に採択

現代応用経済学科ラボラトリが経済産業省中小企業庁「創業機運醸成事業」に採択されました。これは、創業準備段階に至っていない創業の無関心者(学生を含む)に対して創業の普及啓発を行う事業です。補助金の公募にあたり、せたがや中小企業経営支援センターと共同で申請を行い、2018年8月に採択されました。



硬式テニス部が各種大会で活躍



KOMAZAWA

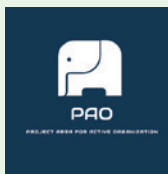
日野勇人選手(経営3)と田村迅選手(経済3)が、8月9日(木)～21日(火)に開催された「平成30年度全日本学生テニス選手権大会」の、男子ダブルスの部で第3位に輝きました。また、古川真実選手(社会4)と清水里咲選手(国文1)が、8月22日(水)～27日(月)に開催された「平成30年度関東学生テニス選手権大会」の、女子ダブルスの部で優勝を果たしました。



その他

「情報グループ学習室(PAO)」のロゴが決定

今年度新設された情報グループ学習室「PAO」のロゴを募集し、応募された47作品、計482票の投票の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定し、今野大樹さん(グローバル・メディア4)の作品が最優秀賞に選ばれました。



OBのプロボクサー伊藤雅雪選手が「WBO世界スーパーフェザー級王座」を獲得

伊藤雅雪選手(現代応用経済卒)が、7月28日(土)にアメリカで開催された「世界ボクシング機構(WBO)スーパーフェザー級王座決定戦」に勝利し、世界チャンピオンとなりました。



世田谷区社会福祉協議会と「地域福祉の推進に関する包括協定」を締結

協定締結により、世田谷区社会福祉協議会と本学、及び学生が協働して地域の福祉を推進していくことが期待されます。



山梨県と学生UIターン就職促進に関する協定を締結

学生の山梨県の企業へのUIターン就職活動支援について、相互に連携・協力をして取り組むことを目的としたもので、9月4日(火)に協定式を開催しました。なお本学では現在、栃木県、長野県、茨城県、新潟県、山形県、札幌市と既に学生UIターン就職促進に関する協定を結んでいます。



経営学部が世田谷区立駒沢小学校のサマースクールに企画参加

経営学部の5つのゼミ(青木茂樹ゼミ、小野瀬拓ゼミ、鹿嶋秀晃ゼミ、中野香織ゼミ、渡辺伊津子ゼミ)が、8月30日(木)に近隣の世田谷区立駒沢小学校サマースクールのプログラムに企画参加しました。



学生FDスタッフの委嘱が行われ結成式を開催

6月1日(金)、学生FDスタッフの委嘱が行われ、結成式を開催しました。学生目線の教育改善を目指して14人の学生FDスタッフが、学生から見て効果的であると思われる教育方法を実践する教員を表彰する「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」などのイベント企画、広報、運営を行います。



陸上競技部の大八木弘明監督と片西景選手、空手道部の杉本りさ選手が「スポーツ功労者顕彰」と「国際競技大会優秀者表彰」を受章

文部科学省スポーツ庁より、陸上競技部の大八木弘明監督が「国際競技大会優秀者表彰」を、片西景選手(地理4)と空手道部の杉本りさ選手(心理3)が「スポーツ功労者顕彰」をそれぞれ受章しました。



片西選手は「第29回ユニバーシアード競技大会ハーフマラソン」での優勝、杉本選手は「第10回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会」の組手の部で優勝したことが評価されました。片西選手の指導にあたった大八木監督は、指導者としての受章となりました。

ボクシング部の2選手が日本代表に選出

・小川達也選手(経営1)が、8月14日(火)~16日(木)に台湾の台北市で開催された「第8回台北市カップ国際トーナメント」にフライ級日本代表として出場しました。
・嶋田淳也選手(歴史3)が、9月2日(日)~7日(金)にロシアのエリスタ市で開催された「FISU第8回世界大学ボクシング選手権大会」にライト級日本代表として出場しました。



NEWS+



サークルの活動予定

体育会

- ラグビーフットボール部
 - 関東ラグビーフットボール大会 リーグ戦4部 / ~11月8日(木) / 駒澤大学グラウンド、千葉大学グラウンド、創価大学グラウンド
- アメリカンフットボール部
 - 関東学生アメリカンフットボール 秋季リーグ戦 / ~12月1日(土) / アミノバイタルフィールド
- サッカー部
 - JR東日本カップ2018 第92回関東大学サッカーリーグ戦【後期】 / ~11月25日(日) / 味の素フィールド西が丘 他
- 少林寺拳法部
 - 第52回少林寺拳法全日本学生大会 / 11月4日(日) / 日本武道館
- 相撲部
 - 全国学生相撲選手権大会 / 11月3日(土)・4日(日) / 国技館
- バスケットボール部
 - 第94回関東大学バスケットボールリーグ戦 / ~11月3日(土) / 江戸川大学駒木キャンパス、国士舘大学多摩キャンパス
- ボクシング部
 - 第88回全日本ボクシング選手権大会 / 11月14日(水)~18日(日) / 水戸桜ノ牧高校常北校
- 陸上競技部
 - 秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権記念大会 / 11月4日(日) / 熱田神宮西門前~伊勢神宮内宮宇治橋前

駒大生の輝く姿をぜひご覧ください

男子バレーボール部

- 2018年度関東大学バレーボール秋季リーグ戦 / ~10月20日(土) / 駒沢体育館 他
- 第71回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 / 11月26日(月)~12月2日(日) / 東京都内

体操競技部

- 関東学生新人体操競技大会、関東学生体操競技交流大会 / 10月19日(金)・20日(土) / 栃木県体育館

空手道部

- 関東学生空手道体重別選手権大会 / 10月21日(日) / 武蔵の森総合スポーツプラザ
- 関東学生秋季定期リーグ / 10月28日(日) / 亜細亜大学
- 全日本大学空手道選手権大会 / 11月18日(日) / 日本武道館

剣道部

- 第66回全日本学生剣道優勝大会 / 10月28日(日) / 大阪市中央体育館
- 第37回全日本女子学生剣道優勝大会 / 11月11日(日) / 春日井市総合体育館
- 第64回関東学生剣道新人大会 / 11月25日(日) / 東京武道館
- 第19回関東女子学生剣道新人大会 / 12月1日(土) / 東京武道館

洋弓部

- 関東学生アーチェリー新人個人選手権大会 / 11月3日(土)・4日(日) / 富岡総合公園アーチェ

リー場

- 男子ラクロス部
 - 第31回関東学生ラクロスリーグ戦 / 10月21日(日)・27日(土) / 東京理科大学野田キャンパス 他
- 女子ラクロス部
 - 第31回関東学生ラクロスリーグ戦 / 未定 / 未定
- チアリーディング部BLUE JAYS
 - 第30回全日本学生選手権大会 / 12月15日(土)・16日(日) / 高崎アリーナ
- 応援指導部ブルーベガサス
 - 第十四回天馬祭 / 12月16日(日) / 記念講堂

文化部

- 合唱団
 - 第56回定期演奏会 / 12月27日(木) / 武蔵野文化会館
- ギタークラブ
 - ウィンターコンサート / 12月23日(日) / 記念講堂
- ギターマンドリン倶楽部
 - 第48回定期演奏会 / 12月7日(金) / 川口総合文化センター リリア音楽ホール
- 吹奏楽部
 - 第54回定期演奏会 / 12月9日(日) / 記念講堂

任意団体

- 放送研究会
 - 番組発表会 / 12月26日(水) / 記念講堂
- 管弦楽団
 - 第41回定期演奏会 / 10月20日(土) / 記念講堂

「何かを犠牲にして人より努力できる者だけが、一流になれる」



1958年東京都生まれ。法学部法律学科卒業。卒業後は鹿島アントラーズの前身・住友金属工業サッカー部に入団。30歳で現役を引退した後、指導者時代を経て、鹿島のスカウト担当に就任する。Jリーグ創成期から長年にわたり、高卒・大卒の新人選手を発掘するスカウトマンとして活躍。現在も第一線で活躍中。

鹿島アントラーズのスカウトマンとして、今まで数多くの才能ある選手を見出してきた椎本さんに、色々なお話を伺いました。

* * * * *

---サッカーを始めたきっかけは？

子どもの頃は、野球に夢中でしたね。当時は、スポーツができる人は野球をする時代。サッカーは教える人も少ない状況でした。でも、小学校6年生の時に、学校で一時的にサッカークラブができて、それがきっかけで始めたのがサッカーとの出会いですね。

そこから、サッカーを好きになって、中学校、高校でもサッカーを続けました。ただ、サッカーは好きだけど、勉強は嫌だったので(笑)、正直、大学に行く気はなかったんです。でも、高校3年生の時に、母親が監督から学校に呼ばれて「大学でサッカーをやらせていいですか?」と聞かれたので、親が「先生にお任せします」と応えて、それで決まっちゃいましたね(笑)。

---駒大ではどんな学生でしたか？

大学時代はサッカー一色の日々で、夏休みも合宿があり、毎日練習でした。僕が1年生の時に4年生でキャプテンだったのが、秋田浩一さん(※)で、すごく鍛えてもらいました。

学生時代で一番嬉しかったのは、3年生の時に関東1部に上がったことで、逆に一番悔しかったのは翌年2部に落

ちたことです。やっぱり負けたことの方が強く印象に残っていますね。

そんなサッカー漬けの毎日を過ごしていた時に、社会人リーグの住友金属が声を掛けてくれました。他のチームからもお誘いをいただいたのですが、最初に声を掛けてくれたことと、若いチームで良いと思ったので、すぐにお世話になろうと決めました。

---以降、鹿島一筋ですが、どのような経緯で現在の仕事に就かれましたか。

30歳まで現役を続けて、引退後はコーチとして指導者の道に入りました。コーチになって2~3年後、Jリーグ発足に伴い、チームもそこに参加することになった。チーム名も鹿島アントラーズとなり、育成部門を立ち上げないといけなかったのが、僕はユースの監督をしながら選手集めもしていました。その後、新たに専門のスカウト部門を立ち上げるようになって、人事異動という形で今の仕事に就きました。

---スカウトという仕事の中で、苦労された点や、やりがい、大切にされていることなど教えてください。

最初の頃は、まずは試合に足を運んで顔を覚えてもらうのに必死でした。後に名将と呼ばれる監督たちも、最初はなかなか顔を覚えてくれなかった。選手がいない時も何度も通って、行く度に名刺を渡しました。でも、そういう方たちに鍛えられて、色々と教わったことが今に繋がっています。

僕は、高校・大学の選手のスカウトを担当していますが、毎年2月ぐらいに強化部で新人を採るポジションが決まります。その後、週末は全国各地に行き、自分の目で選手たちのプレーを見ます。良い選手は、技術力が高いのは当然だけど、大事なのはストロングポイントを持っているかどうか。そこで目に留まった選手の中から、声を掛ける選手を僕が決めます。鹿島では日本人の新人選手は僕に一任されており、当然、責任やプレッシャーはありますが、その分やりがいも大きい。

それと信用が一番大事なので、僕は良いことだけじゃなく本当のことを正

直に言います。結局は人と人ですから、何度も足を運んで、信頼関係を作ることが重要で、それは一般企業の営業マンと一緒にだと思います。

---数々の名選手をスカウトしてられましたね。

今まで僕が声を掛けて、47人の選手に鹿島アントラーズに来てもらいましたが、多くが日本を代表する選手に育ってくれました。例えば先日のロシアW杯には、鹿島関連で言えば、昌子源、植田直通、柴崎岳、大迫勇也の4選手が日本代表に選ばれましたけど、自分が関わった選手が世界の舞台で活躍しているのを見るのは嬉しいものです。ただ、それよりも何倍も嬉しいのが、来てくれた選手が初めて試合に出た時です。親心のようなもので、この仕事をしていて何より一番の喜びを感じますね。それに、鹿島アントラーズというチームに魅力があるから選手が来てくれる。僕はその橋渡しをしていると思っています。

---最後に学生たちにメッセージを。

サッカーに関して言えば、何かを犠牲にしないと一流にはなれないと僕は思います。学生なら遊びにも行きたいでしょう。でも、「サッカーも、遊びも」と両方取ったら成功しない。プロという目標があるなら、何かを犠牲にして人よりも努力をする。それが好きなことのためだったら、できるはずですよ。

サッカー以外のことでも、こういう仕事に就きたいとか、何か自分の目標を持って、それに向かってやっていけば、大学生活がもっと楽しいものになるんじゃないかなと思いますね。

鹿島アントラーズ



クラブ公式サイト

<http://www.so-net.ne.jp/antlers/>

公式Facebook

<https://www.facebook.com/official.KashimaAntlersFC>

公式Twitter

https://twitter.com/atlr_official

公式Instagram

<https://www.instagram.com/kashima.antlers/>

※：現・サッカー部監督、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門教授。